

VERIFICATION STATEMENT OF
WATER DATA ASSERTIONS

Statement No.: SS006-2021-WAT-KOB-DNV

Page 1 of 2
initiate reporting of**Furukawa Electric Group
Water Data Report (Year 2021)****<検証の範囲>**

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は、古河電気工業株式会社より「古河電工グループ環境保全データ報告書」に記載された水データ(以下「水データ報告書 2021」と称す)に関して以下の範囲の水使用量及び排出量に関して第三者検証を依頼された:

- 古河電気工業株式会社 平塚事業所
- 古河日光発電株式会社
- 理研電線株式会社 市島工場
- FCFT 社(台湾)

<算定検証基準とプログラム>

水使用量及び排出量の特定・計算・監視・報告の基準は、温室効果ガス排出量の定量と報告のための規格である ISO14064-1:2006 を援用した、古河電工グループ環境保全データ算定報告ガイドラインである。また検証の基準は、ISO 14064-3:2006 を基にした DNV 検証手順である。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、古河電工グループの水データ報告書 2021(2021 年 6 月 28 日付)における水使用量および排出量算定の主張に関して、同社の水使用量および排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は環境データ報告書、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

The verification has been performed
under the supervision of:

Independent Validation Verification Body:
DNV Business Assurance Japan K.K.



Akira Sekine, GHG Verifier
2 July 2021



Naoki Maeda, Management Representative
2 July 2021

VERIFICATION STATEMENT OF WATER DATA ASSERTIONS

Statement No.: SS006-2021-WAT-KOB-DNV

Page 2 of 2

<水使用量および排出量の算定>

「水データ報告書 2021」の対象期間は 2020 年 4 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日である。DNV の検証意見として当報告書の水使用量および排出量の算定は、現実性・透明性・測定可能性があるものである。

<組織境界>

検証の範囲に記載の、4 法人 4 拠点を検証対象及び境界とする。

<検証された水使用および排出>

使用量

- 外部からの水供給
- 表層水
- 海水、汽水
- 回復可能な地下水
- その他

排出量

- 外部(第三者)への排出
- 表層水域
- 海、汽水域
- 地下水
- その他

<検証された量>

古河電気工業株式会社 平塚事業所 (含 FEIC(株)、FEPS(株)) :

取水 (地下水・市水) : $83.2 \times 10^3 \text{ m}^3$

排水 (河川、下水道) : $83.2 \times 10^3 \text{ m}^3$

古河日光発電株式会社 :

取水 (地下水・市水) : $1.06 \times 10^3 \text{ m}^3$

排水 (河川、下水道) : $1.06 \times 10^3 \text{ m}^3$

理研電線株式会社 市島工場 :

取水 (地下水・市水) : $54.1 \times 10^3 \text{ m}^3$

排水 (河川、下水道) : $54.1 \times 10^3 \text{ m}^3$

FCFT 社 (台湾) :

取水 (地下水・市水) : $511 \times 10^3 \text{ m}^3$

排水 (河川、下水道) : $400 \times 10^3 \text{ m}^3$

<検証意見>

- 無限定適正
- 限定適正
- 意見差し控え

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで古河電気工業株式会社と財務上の関連性がないことを表明する。